
黒と白とetcの日常

黒猫さん。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒と白とe t cの日常

【Nコード】

N1542T

【作者名】

黒猫さん。

【あらすじ】

毎日が楽しい。

高校生の日常を軽く書いた物語。

少しだけ笑いたい。

そんな人は見てください。

日常 初日（前書き）

お前はペ シとコ ラの違いが分かるのか？

この問いには予想もしない答えが返ってきた。

果たしてその答えは…

日常 初日

いきなりだがあああ！

・・・ペ シとコ ラの違いを言ってみろ！！

そんな友達の問題に俺は答えられなかった。

それが、4月7日の事。

俺は高校1年で、当初はギクシヤクすると思われていた交友関係も中々うまくいっている。それは良しとして…

現在4月8日。昨日の問題が気になって眠れない俺がベッドでヘッドバンキングをしている。

あいつは答えを知っているのか？…答えはなんなんだ？味か？味なのか？

という具合に俺は炭酸飲料に頭を悩まされている。が、一休さん並の頭脳を持つ俺。

そんな俺の閃きを一つ。

問い返しをすればよい。

そんなこんなで深夜に友達の家にLOVEコール。もちろん携帯で

はない。家電だ。ここまで俺を悩ませたのだから、代償は高い。

お、かかったな。

「もしもし？俺だ。さつさと馬鹿野郎をだせ。」

「あら？黒ちゃん。悪いけど白は今寝ちゃってるのよ。」

「おばさん。あいつを叩き起こしてこい。」

「おばさん、頑張っちゃおうかしら。息子を叩き起こすなんて久しぶりだわ」

…そして5分後。

「て、てめえ！人のおふくろを何だと思ってんだ！」

「お前のおふくろだ。」

「大正解だちくしょう！」

「そんな事はどうでもいい。白。お前はペ シとコ ラの違いが分かるのか？」

「はっ！この問題は分からないが正解なんだよ！あれ？もしかして本気で考えてた？ごめんねー！」

ツーツーツー

「あれ？黒？聞いてる？あれえ？回線きれたのかな？」

翌日

「宅急便です。」

「あれ？何か頼んだっけ？おふくろが何か頼んだのか？」

「ここにサインを……」

「あ、すみません。」

「ありがとうございますー」

……で、これは一体なんだ？

俺が手に持っている箱は以上に重い。

とりあえず、開けてみよう。

…？

中に入ってたのはまず一枚の手紙。内容は「本気で考えてた俺の気持ちになってみる」

まさかと思い、中を見て見ると、コラとペシが20本ずつ入っていた…

そしてもう一枚手紙を発見。内容は「来週までに全て飲み、違いを
言え。言えなかった場合はお前の大好きな女子たちにお前の性癖を
ばらしてやる。」

俺が炭酸飲料嫌いなもの知っていてやっている…なんて野郎だ！

黒めええええええ！！

俺の性癖が女子たちにはれたら、もう二度と口聞いてくれないな…

…一日6本くらい飲めば、全部飲めるよね。大丈夫だよな。

ウエエエエエエーン！

「4月9日 end」

日常 初日（後書き）

一話一日という事で進めていきたいと思っています。

暇つぶしに書いているので、暇な人は読んでくださいw

黒と白のe t cの日常(前書き)

こっちが本物なんですよ…

ミスって修正前を貼っちゃったね。

すいませぬ。

黒と白のe t cの日常

いきなりだがあああ！

・・・ペ シとコ ラの違いを言ってみろ！！

そんな友達の問題に俺は答えられなかった。

それが、4月7日の事。

俺は高校1年で、当初はギクシヤクすると思われていた交友関係も中々うまくいっている。それは良しとして…

現在4月8日。昨日の問題が気になって眠れない俺がベッドでヘッドバンキングをしている。

あいつは答えを知っているのか？…答えはなんなんだ？味か？味なのか？

という具合に俺は炭酸飲料に頭を悩まされている。が、一休さん並の頭脳を持つ俺。

そんな俺の閃きを一つ。

問い返しをすればよい。

そんなこんなで深夜に友達の家にLOVEコール。もちろん携帯で

はない。家電だ。ここまで俺を悩ませたのだから、代償は高い。

お、かかったな。

「もしもし？俺だ。さつさと馬鹿野郎をだせ。」

「あら？黒ちゃん。悪いけど白は今寝ちゃってるのよ。」

「おばさん。あいつを叩き起こしてこい。」

「おばさん、頑張っちゃおうかしら。息子を叩き起こすなんて久しぶりだわ」

…そして5分後。

「て、てめえ！人のおふくろを何だと思ってんだ！」

「お前のおふくろだ。」

「大正解だちくしょう！」

「そんな事はどうでもいい。白。お前はペ シとコ ラの違いが分かるのか？」

「はっ！この問題は分からないが正解なんだよ！あれ？もしかして本気で考えてた？ごめんねー！」

ツーツーツー

「あれ？黒？聞いてる？あれえ？回線きれたのかな？」

翌日

「宅急便です。」

「あれ？何か頼んだっけ？おふくろが何か頼んだのか？」

「ここにサインを……」

「あ、すみません。」

「ありがとうございますー」

……で、これは一体なんだ？

俺が手に持っている箱は以上に重い。

とりあえず、開けてみよう。

…？

中に入ってたのはまず一枚の手紙。内容は「本気で考えてた俺の気持ちになってみる」

まさかと思い、中を見て見ると、コラとペシが20本ずつ入っていた…

そしてもう一枚手紙を発見。内容は「来週までに全て飲み、違いを言え。言えなかった場合はお前の大好きな女子たちにお前の性癖をばらしてやる。」

俺が炭酸飲料嫌いなもの知っていてやっている…なんて野郎だ！

黒めええええええ！！

俺の性癖が女子たちにばれたら、もう二度と口聞いてくれないな…

…一日6本くらい飲めば、全部飲めるよね。大丈夫だよな。

ウエエエエエエ！

「4月9日 end」

黒と白のe t cの日常（後書き）

こちらの方が内容が深い思います。

楽しんでもらえれば良いと思っております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1542t/>

黒と白とetcの日常

2011年10月9日00時41分発行